

遠隔 ICU 分科会・Tele-ICU SIG

分科会長 高木 俊介

横浜市立大学附属病院 集中治療部

1. 分科会設立の目的

本邦ではまだ普及が十分ではない遠隔 ICU に関して、運用モデル、国内での普及実績などを学会で発信していくことで遠隔 ICU の認知向上と普及推進、並びに保険収載に向けた活動をしていくことを目的とする。

2. 分科会メンバー数 9 人

3. 令和 4（2022）年度の活動の実績と成果

1) 学術集会

第 26 回 遠隔医療学会学術集会)において、分科会セッションを開催し、議論を行った。様々な視点での発表があり、今後の遠隔 ICU の発展に繋がる分科会セッションとなった。

2) セミナー事業

遠隔 ICU を普及する「特定非営利活動法人集中治療部治療コラボレーションネットワーク」と連携して、遠隔 ICU に関する Web セミナー 2 回開催した。

3) AAMED 事業

令和 4 年度の医工連携・人工知能実装研究事業「患者のライブ映像を含むマルチモーダルな医療データを用いた AI 技術により、重症患者の身体観察所見及び重症度評価を自動化する AI 見守り機能を搭載した D-to-D の遠隔 ICU テレメディシン・サービスの実装研究」に関する研究活動を行い、遠隔 ICU 分科会において発表を行なった。

4) 保険戦略

令和 6 年度の保険収載の要望提案を、日本集中治療医学会と情報共有をしながら申請の準備を行っている。

4. 令和 5（2023）年度の活動の目標と計画

1) 遠隔 ICU の保険収載を目指して、各施設でのエビデンスを構築していく。

2) AMED 研究事業を遠隔医療協会とも連携しながら進めていく。

それらの報告事例を遠隔 ICU 分科会で報告したいと考えている。

分科会長連絡先 (Email) : shun5323@yokohama-cu.ac.jp